

| 東北大学大学院理学研究科 大学院合同入試説明会 |

学生生活の紹介

大学院から編入学をお考えの方々へ



物理学専攻 博士課程前期2年
木野 量子

自己紹介

- 名前：木野 量子（きの りょうこ）
- 所属・学年：理学研究科物理学専攻
博士課程前期2年
原子核物理研究室 ストレンジネス核物理
宇宙創成物理学国際共同大学院プログラム生
- 出身地：宮城県仙台市
- 出身校：宮城県仙台第一高等学校
山形大学理学部理学科物理学コース
- 研究のテーマ：原子核物理（ハイパー核に関する実験的研究）
加速器を使った原子核実験に取り組んでいます。



入学後の勉強・研究生生活 M1編

どのような研究生生活のスタイルになるかは専攻・研究室に大きく依存します。

私の所属する研究室ではコアタイムが無いかわりに、ミーティングは週3回以上、そのうち最低1回は研究の進捗を報告することになっています。

はじめのうちは週3回出席するだけでも大変でしたが、そのうち慣れていきました。

授業やTAである程度決まった生活リズムの中、研究時間を作ることになります。

M2になると就活や修論で忙しくなるので、M1の間に修了に必要な単位を揃えることがポイントです。

▼ M1前期の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2		場の量子論 基礎	素粒子物理学 基礎	電波天文学 特論	原子核物理学 基礎
3	高エネルギー 物理学特論	宇宙創成 物理学概論	TA (物理学実験Ⅱ)	TA (物理学実験Ⅱ)	研究室ゼミ (検出器)
4			TA (物理学実験Ⅱ)	TA (物理学実験Ⅱ)	研究室ゼミ (ハイパー核)
5	研究室 ミーティング A	研究室 ミーティング B	研究室 ミーティング C		

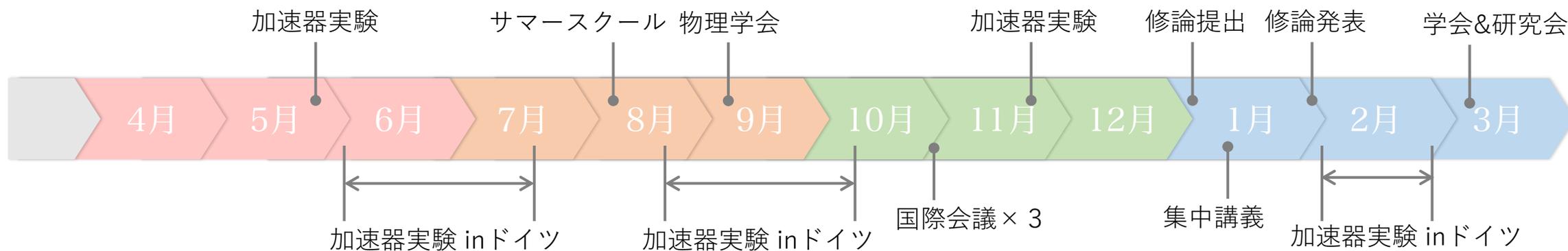
入学後の勉強・研究生生活 M2編

M2になるとほぼ100%自由時間となり、研究に時間をたっぷり使えます。
私の場合はM2の間に計4ヶ月程度、実験のためにドイツに滞在しました。

加速器実験は丸1日～数ヶ月の
スパンで行います。そのため
の事前準備には数週間～数年
かかります！



宇宙創成物理学国際共同大学院
GP-PU公式ゆるキャラ



学会や国際会議での発表は修士の2年間で15回程度行いました。

このような学会発表が研究の良いペースメーカーとなります。

また、日頃から指導教員や助教の先生方と進捗を相談するのも大切です。

博士前期課程修了後に就職を予定している場合は、3月～夏にかけて就活も行います。



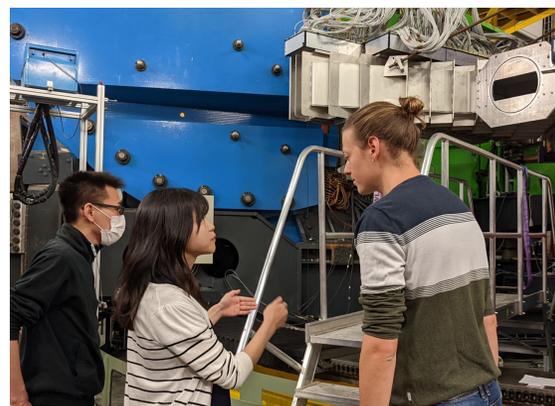
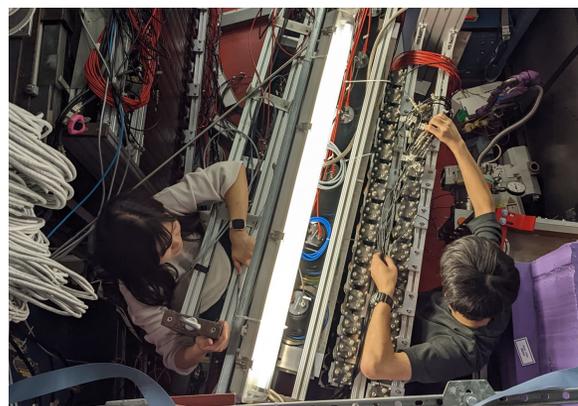
入学後の勉強・研究生活 海外編

ドイツでは主に加速器実験の準備作業や、実際の実験運営などを行いました。

コアタイムのない研究室では、深夜や土日に大学で研究する人がちらほらいるものですが、ドイツ人は17時に帰宅&土日は完全休み、というスタイルで研究を進めており、自分もライフスタイルを見つめ直すきっかけになりました。

滞在中は、休みの土日を使って観光も楽しみました。

何より作業後のドイツ料理&ビールは最高です！



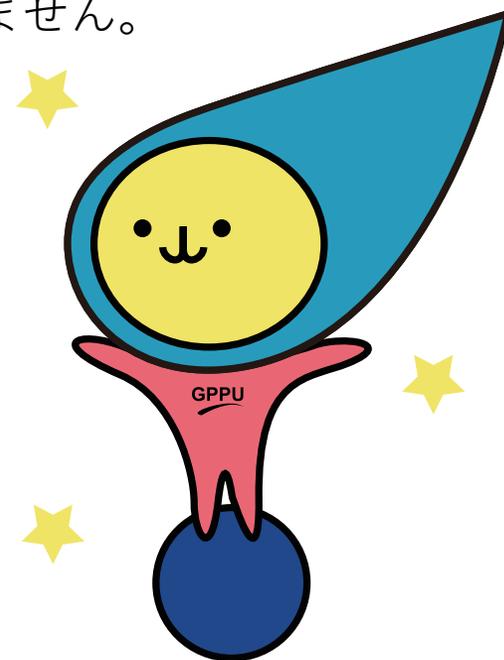
入学後の勉強・研究生活 おまけ

レベルの高い東北大学に入ってついていけるのか… 心配な方もいると思います。
私もまさにそうでした。（今でもそうです。）

内部生は半年～1年先に研究を開始しているので、
入学してはじめてのうちは内部生に遅れをとっているように感じることもあるかもしれません。

このことについては、「気にせず頑張る」のではなく
「受け入れて内部生より努力する」ことによってのみ、徐々に解消していきけるもの
だと個人的には思います。

しかしそんなに怖がることはありません！
先生方、先輩方はとても親身に、丁寧に、熱心に、なんでも教えてくれます。
分からないことがあれば、素直にこまめに質問していくことが大事です。



国際共同大学院プログラム



東北大学には数多くの大学院教育プログラム（[高等大学院機構](#)）が存在し、各プログラム毎に用意された高等教育を受けることができるだけでなく、RA等の給料をもらいながら研究に専念することができます。

私は国際共同大学院プログラムの一つ、[宇宙創成物理学国際共同大学院\(GP-PU\)](#)の履修生です。

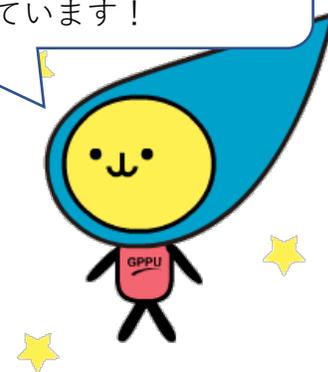


宇宙創成物理学 国際共同大学院

素粒子・原子核・天文学の“宇宙創成”に関わる物理学分野を学ぶ学生が対象
RA給料は 十数万円/月

- 英語による最先端研究のセミナーにおけるディスカッション
 - 英語による研究発表の機会
 - 3ヶ月以上の海外研修（4年間で約200万円の旅費サポート）
 - 素粒子・原子核・天文学の分野をまたぐ理論セミナーや高度実験実習
- 国際的視野、実践的英語力、国際共同研究を牽引するリーダーシップと知識・技術を身につける

ドイツにおける研究も、その費用の一部はGP-PUに支援して頂いています！



現在*、10の[国際共同大学院プログラム](#)が用意されており、他にもさまざまな形態のプログラム、フェローシップ制度があります。理学研究科では、博士後期課程の半数以上の学生が給料を得ながら研究を続けています。

進学を検討している方は、自分の分野に近いものや興味のあるプログラムを探してみてください。

事前に準備が必要なものもあるので、履修要件や出願資格も要チェックです！

研究の合間の 息抜き

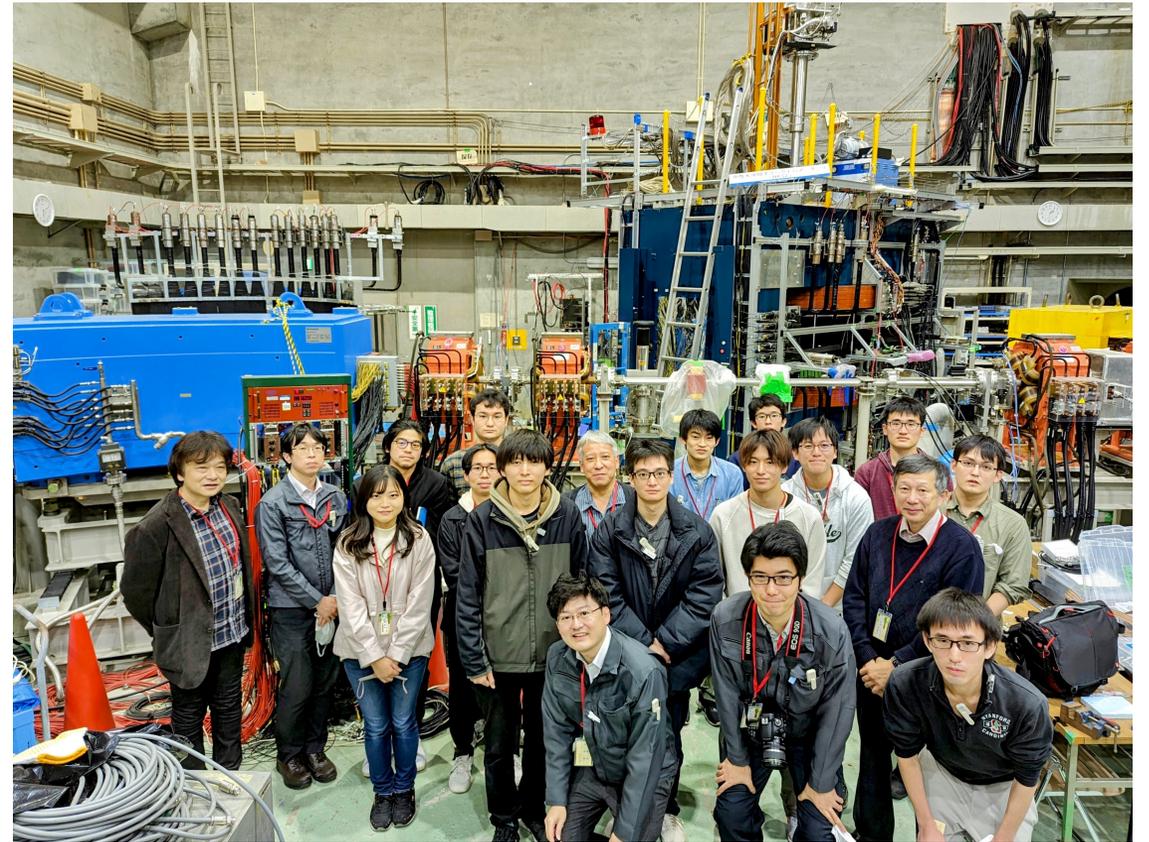
- ❖ 出張や実験、学会などの研究イベントには研究室のメンバーで打ち上げに行くことが多いです。普段のミーティングでは聞けない物理の話は楽しいです。
- ❖ 研究室では、東北恒例の「芋煮会」やお花見などのイベントも行っています。
- ❖ もちろん研究室以外の趣味の時間もあります。私は旅行が好きなので、2ヶ月に1回は他県に出かけています。研究のスケジュールをある程度自分でコントロールできるのも魅力です。



ご高覧ありがとうございました。



2022年10月23日 芋煮会



2022年11月25日 東北大・東大・中部大合同テスト実験@ELPH